



しんかい6500 潜水に成功!

■地球の未知を調べる目的

私達が住んでいる地球には、宇宙と同じくらい分かっていないことが、たくさんあります。そして地球の表面の約7割は海です。そこで地球の未知を調べるには、海から調査することが非常に重要になりますが、これには海底まで行って詳しく観察することがまず必要です。そのために深海底に人間を運んで観察・調査ができる乗り物、つまり、潜水調査船が必要となります。そこで開発されたのが6500m潜水調査船「しんかい6500」です。

平成元年4月から実際の海で潜航試験を開始した「しんかい6500」は、8月11日に潜航深度6527mの記録を達成して、試験潜航を終了しましたが、来年度には海の中の山や谷、あるいは岩場のような複雑な地形の場所で自由に動けるように乗員の訓練を行い、再来年度の平成3年度から本格的な調査潜航を行う予定になっています。

「しんかい6500」の主な調査の対象には、初めに述べたような地球の科学的調査・研究があります。地球自身的一天体としての物理学的、化学的研究や、そこに住む生物に関する研究もその中に含まれます。それと共に、海底の地殻の動きを調べることによって、日本に多い地震の発生メカニズムやその予知のための研究も重要な対象となります。

また、深海底はいろいろな鉱物資源の宝庫であり、どこにどのような鉱物資源がどれくらい存在しているかを調査しておくことは、今後の人類社会にとっても非常に重要です。

さらに、太陽の光が届かない深海に住む生物は、太陽の下の生物とはまったく違う生活をしています。

このことは生物学的にも興味ある内容です。今までと違う画期的な化学物質などが見つかる可能性も含まれています。

■平成3年度から調査開始

平成3年度から、今まで人類が行きたくてもなかなか行けなかった深海底での、このようないろいろな未知に向かったの調査が始まります。調査成果が楽しみです。

(海洋科学技術センター:

高川真一)

